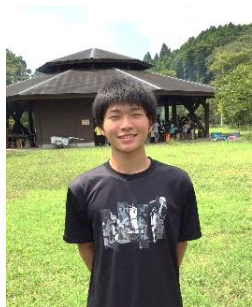


～ジュニアリーダーキャンプのボランティアを終えて～



8月10日から千葉市少年自然の家(長生郡)で行われた2泊3日のジュニアキャンプリーダーにボランティアとして参加してきました。

このキャンプは、小学5、6年生を対象としていて、キャンプを通して子どもたちが、お互いを尊重して、協力することを学ぶ機会になっています。

私は、このキャンプにグループリーダーとして参加しました。グループの子どもたちの、体調や友だち関係など、細かなところまで気を配りながら一日行動を共にするのは、思っていた以上に大変なことでした。子どもたちと一緒に楽しむことも大事ですが、時には厳しく指導することも大切だと思いました。3日間、とても充実した時間を過ごすことができ、自分も成長することができたと思います。

私は、教員をめざしています。今回のボランティアで学んだことを生かして、子どもたちとしっかり向き合える教員になるために、これからも頑張っていきたいです。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 1年 村山 一晴
千葉県習志野市立習志野高等学校出身



～植草共生森の整備作業を行いました～

本学園小倉キャンパスの東側には、植草共生の森(ビオトープ)があり、教職員と学生ボランティアが定期的に環境整備を行っています。



8月には、森の危険箇所確認と、棚田で栽培中のもち米を、スズメなどの鳥から守るために、防鳥ネットを貼り付ける作業をしました。



作業中にタマムシが姿を見せてくれました。背中に虹のような赤と緑の縦じまが入り、とてもきれいな昆虫です。タマムシは漢字で、吉丁虫とも書かれ、古くから縁起の良い虫と言われていたようですが、ビオトープからは、生物の持ち出しが禁止されているので、写真を撮りそと森にかえしました。

実りの秋です。棚田のもち米は、10月上旬収穫予定。そして、1月に開催するビオトープ祭で、お餅つきに使用します。



～「親子であそぼう!!」に参加して～



植草学園大学・植草学園短期大学 子育て支援・教育実践センターでは、子育て支援講座「親子であそぼう!!」を開催しています。

講座には、講師として本学教員が関わるほかに、学生が学びの一環として参加しています。

7月21日(火)に実施した、第1回「親子であそぼう!!」～タオルであそぼう～に参加した学生の感想を紹介します。

参加した子どもたちは、最初はなかなか打ち解けてくれず、焦りました。しかし、活動が進むにつれてハイタッチしたり、抱きついてきたり、短時間でこんなに心を開いてくれたかと思うと本当に嬉しかったです。

短大 福祉学科 児童障害福祉専攻 2年 高橋 菜々
千葉県立土気高等学校出身

タオルあそびでは、1年生の時に授業で、学生同士がペアになって行いましたが、実際に子どもの反応を実感し、とても貴重な体験ができました。ゆりかごや電車あそびでは、子どもたちが満面の笑顔で、何度も飽きずに繰り返し行っている姿が嬉しかったです。



短大 福祉学科 児童障害福祉専攻 2年 田中 春菜
千葉県私立千葉明德高等学校出身



～11月14日(土)・15日(日)は
緑栄祭へお越しください!!～

第16回緑栄祭(大学祭)を11月14日(土)・15日(日)に開催します。今年も、子どもから高齢な方まで、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるイベントや模擬店を企画しています!

個別相談会も開催します! 入試、学科専攻の特色、入学後の生活についてなど、スタッフが個別に対応します。AO3期の受験を検討している方はAO入試事前説明・相談の最後のチャンスになりますので、是非ご参加ください。

